

令和6年度 成果報告 産業観光課総括

1. 商工観光関係

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者支援として、借入に対する利子補給を、新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金を取り崩し行っていたが、基金残高が無くなったため基金事業を終了した。
- 木曽路・伊那路広域観光連携会議としてのプロモーション事業や、かつての尾張藩をエリアとする地域が連携し、名古屋市が中心となって欧米豪からの集客を目的とした、観光プロモーション事業を展開した。また、木曽川下流域との交流事業として木曽広域連合、郡内町村と連携し、愛知県内の交流自治体において、木工体験や観光宣伝を行った。
- なぎそミツバツツジ祭り、工芸街道祭り、氷雪の灯り祭り、地域では、観月会、花馬祭り、文化文政風俗絵巻之行列等が開催され賑わいを見せた。また、コロナ禍で減少していた観光客入込数についても、訪日外国人旅行者増加により、コロナ禍前の数値に戻りつつある。
- 中津川・塩尻・木曽・下伊那広域連携 SDG s 推進協議会広域観光部会では、「リニア時代に備えた持続可能なスローツーリズム構築事業」～森林の癒し ストレスマネジメントの里づくり～として、圏域内の共通資源である森林を活用し、国内外から周遊・体験・滞在しリピーターの増大を図り、持続的に発展する地域づくりを目的に事業を展開した。

2. 農政・農村整備・林務関係

- 中山間地域等直接支払制度の第5期（令和2年度～6年度）と多面的機能支払交付金事業の第3期（令和6年度～10年度）による各協定での取り組みが進められ、農道・水路の維持管理が行われた。
- 飼料肥料の高騰対策として、補助金を交付し農家支援を行った。
- 畜産振興については、町有牛導入事業や素牛導入事業等により肉用牛飼育頭数の維持を図っているが、畜産農家は減っている。また、肉用牛の家畜市場の子牛の平均価格は低下したままである。
- 細の洞地区における小水力発電事業は、令和3年1月から発電及び売電を開始した。令和6年度は約784万円の売電収入を得て、維持管理や基金、学校施設の電気代等他事業への充当を行った。
- 農地の基盤や排水の不具合を解消するための耕作条件改善事業では、水田の改修を行う6件の農家を支援した。
- 土地改良事業は、受益者負担軽減のため農道及び水路改良等の負担率を見直し、コスト面での支援で金銭的負担を軽減し、農地保全及び農業生産の安定化を図ることとした。

- 森林経営管理制度は、読書柿其地区中山団地の委託募集・決定と、5地区目として読書地区川向団地の意向調査を木曾広域連合と連携して行った。
- 令和5年度に林業担い手支援事業を創設した。令和6年度は、新たに林業従事者を育成する事業者に装備費用等2名分の補助を行った。
- 有害鳥獣対策として、国、県の補助金を活用しサル用大型囲い罠の設置と、緩衝帯整備、柵の設置を実施し、有害鳥獣の侵入防止対策を行った。

【評価】

- 観光協会は、一般社団法人化され5年目を迎えた。長野県観光機構の「令和6年持続可能な観光地域づくり推進事業」の補助金を活用し、高山市・白川郷といったオーバーツーリズム等の先進地への視察研修を行った。今後は、「住んでよし、訪れてよし」の持続可能な地域の実現に向け、地域と一緒に課題の解決に取り組んでいく必要があります。
- 町も持続可能な観光振興計画を策定するなど共同で行うことが理想であり、財政面でも自立できるまで今後も支援を行っていく必要がある。
- 妻籠宿有料駐車場運営事業は、令和4年度から一般会計で賄うこととなった。観光客の増加に繋がり使用料収入が増収となったが、コロナ禍前の収入に戻っていない現状である。今後も利用者の増加や運営の合理化を図っていく必要がある。
- 中山間直接支払や多面的機能支払事業は、自主的な維持修繕で農地を保全できるほか、農家の所得補償にもなっているため今後も継続が必要である。
- 細ノ洞小水力発電施設は、令和3年1月から供用を開始した。発電により得られた電力を売電し、農業用施設や公的施設の維持管理費等に充てていくため、今年度も安定的な稼働に務めていく必要がある。
- 森林造成事業等町上乘補助金は、森林組合の民有林搬出間伐の事業に対する支援であり、健全な森林を維持するために今後も必要な事業である。
- 森林経営管理制度は、意向調査の結果、経営管理を町に委託する方が多いので、町による健全な森林整備や森林管理を進めていく必要がある。6年度は5地区目の経営意向調査が行われた。
- 有害鳥獣駆除事業は、農作物被害及び林業被害防止のため、状況を把握しながら継続的な駆除が必要である。また、鳥獣被害対策実施隊の駆除報償や資格保持者の経費負担の軽減を図り、高齢化し減少しつつある実施隊員の確保を図っていく必要がある。

7 産業観光課所管

1. 商工

(1) 商工振興

○雇用対策について

- ・木曽地区雇用対策推進協議会及び木曽地域就業促進・働き方改革検討会議（7月9日）
木曽地区の雇用情勢等の報告等
木曽地区高校生向け企業説明会、木曽地区就職面接会の開催。
- ・中津川市雇用対策事業との連携（負担金：33千円）
- ・公共職業安定所の発行する求人情報を窓口を設置（役場、南木曽会館）

○資金融資措置

中小企業の経営基盤確立のため、県及び町の制度資金（設備・運転資金）に係る融資斡旋を商工会及び県信用保証協会並びに金融機関と連携して実施した。

融資額は、新型コロナウイルス対策の新規融資が終了したことにより、令和6年度は令和5年度と比べ、減額となった。融資内容としては、特別経営安定対策及び創業支援となった。

令和5年10月よりセーフティーネット保証4号を取得しての新規融資は終了し、借り換えのみまたは借り換え＋新規での追加融資のみが利用可能に制度が変更された。

- ・町中小企業振興資金（年利2.0%）

預託金 総 額 21,500千円

八十二銀行 11,000千円 岐阜信用金庫 6,500千円

木曽農協 4,000千円

- ・融資の状況

町制度資金 0件 0千円

県制度資金 7件 34,000千円

計 7件 34,000千円

※経営健全化支援資金（特別経営安定対策） 1件 1,000千円

信州創生推進資金（創業支援向け） 6件 33,000千円

- ・制度資金あっせんによる保証料補給

町制度資金 0件 0千円

県制度資金 7件 634千円

計 7件 634千円

※経営健全化支援資金（特別経営安定対策） 1件 8千円

信州創生推進資金（創業支援向け） 6件 634千円

○新型コロナウイルス感染症の影響を受けての事業者支援関係（災害影響による借入に対する利子補給）

- ・セーフティーネット制度資金利子補給事業

令和4年度に臨時交付金を活用し利子補給基金を設立した。セーフティーネット保証制度で4号認定された中小事業者で、長野県経営健全化資金及び町中小企業振興資金の融資を受けた場合に、保証料の補助を行った。令和6年度に利子補給基金の残高0円になり、基金事業が終了した。

令和 6 年度分	融資保証料	0 件	0 千円
	利子補給金	0 件	0 千円
計			0 千円

令和 2 年度分	28 件	1,825 千円	※運転資金 27 件、設備投資 1 件
令和 3 年度分	12 件	601 千円	※運転資金 8 件、設備投資 4 件
令和 4 年度分	10 件	1,426 千円	※運転資金 8 件、設備投資 2 件
令和 5 年度分	3 件	689 千円	※運転資金 3 件、設備投資 0 件

・基金積立金 13,000,000 円（国費：12,000,000 円、町費 1,000,000 円）

・基金繰入金	令和 4 年度	4,855,153 円	利息	35 円
	令和 5 年度	4,830,303 円	利息	86 円
	令和 6 年度	3,317,158 円	利息	2,493 円

・基金残高 0 円

○小規模事業者への指導

- ・小規模事業指導費として南木曽商工会に 5,500 千円を交付。経営指導、融資斡旋等を実施。
- ・地域内消費拡大事業補助金として、なぎそ・おたのしみカード会に 200 千円を交付。
- ・カード・商品券事業を実施。

○木材、木工業の振興

- ・ウッディ・クリエイト・ナギソ（WCN）の事業に 206 千円を交付。
- ・第 39 回南木曽町小学生木工造形コンクールの実施（展示は町民展と同時開催）
応募作品 136 点

○木材産業体験事業

- ・町内木工事業者の協力により、南木曽小学校 3 年生が総合的な学習「南木曽の木を知ろう」で、間伐材を利用した木製テーブル・ベンチ作りを行った。ベンチ 8 台を町内観光地等へ配置した。

事業費 53 千円（町：53 千円）

設置場所：かぶと観音、天白公園、南木曽小学校

○伝統工芸品の振興

- ・イベント・物産展へ参加しての PR 及び販路拡大を図れなかったが、町内の伝統工芸の後継者育成と振興を図るため次の団体に助成を行った。
- ・「南木曽ろくろ細工」（国指定伝統的工芸品） 南木曽ろくろ工芸協同組合 350 千円
- ・「蘭檜笠」（県指定伝統的工芸品） 蘭檜笠生産協同組合 350 千円
- ・「田立和紙」 田立和紙保存振興会 300 千円

○木曽勤労者共済会

- ・会 員 数 163 名（令和 7 年 3 月末現在）
- ・加入事業所数 31 企業
- ・共済給付事業 祝 金 20 件 171,000 円
見舞金 0 件 0 円
弔慰金 3 件 30,000 円.
- ・融資事業（生活資金・住宅改良資金） 0 件

町村預託金 2,000 千円 長野県労働金庫木曽福島支店

- ・人間ドック利用補助 15 件 56,895 円
- ・一般検診 2 件 4,208 円
- ・勤労者共済会組織町村負担金 971,606 円

(2) 消費生活

○消費者相談等への対応

- ・町への苦情相談問い合わせ件数 1 件（内 電話勧誘：0 件、訪問販売：0 件、警察・消防へ通報・情報提供：1 件、放送による周知：0 件、不明：0 件、県消費生活センター斡旋：0 件）
- ・広報誌、広報無線などで被害防止の周知活動を必要な都度実施

○リサイクル運動 廃油の回収

※令和元年 7 月以降、中津川市の業者に無料回収を依頼している。

(3) 運輸関係

○中央西線輸送強化期成同盟会部会

木曽地域交通網対策協議会で、JR への要望活動を実施。

令和 7 年 3 月 6 日 JR 東海本社への要望活動

○南木曽駅窓口業務の受託（平成 24 年 10 月 1 日～）

J R 東海の南木曽駅無人化を受け、窓口での乗車券類の販売業務を町が受託して実施。

- ・窓口営業時間 午前 7：50～午後 4：05
(昼休憩 11：10～11：30 12：35～13：15)
- ・業務時間 午前 7：30～午後 4：30
- ・窓口従事者 1 人体制
 - 乗車券類販売額 67,277 千円 (R5 49,049 千円) ※前年比+37%
 - 販売手数料 3,207 千円 (R5 2,274 千円) ※前年比+41%
 - ※販売額の乗車券 5 %、定期券 1.8%
- ・運営経費 4,231 千円 (委託料:4,026 千円 使用料:205 千円)
※R5 4,290 千円 (委託料:4,026 千円 使用料:205 千円 備品：59 千円)

(4) 地元特産品の宣伝等

○工芸街道祭り（実行委員会主催） 11 月 2 日～11 月 3 日

2. 観光

(1) 観光行事、イベント関係

- 第 22 回なぎそミツバツツジ祭り（実行委員会主催） 4 月 6 日～14 日（土・日のみ）
- 与川古典庵の観月会 9 月 17 日
- 田立の花馬祭り 10 月 6 日
- 工芸街道祭り（実行委員会主催） 11 月 2 日～11 月 3 日
- 文化文政風俗絵巻之行列 11 月 23 日

- 新春狼煙上げ 1 月 4 日
- 氷雪の灯祭り（実行委員会主催） 2 月 15 日

（2）観光施設

○観光施設工事関係 合計 17,864,000 円（観光施設整備事業） [別表]

- ・令和 6 年度田立の滝登山道整備工事

○観光施設、登山道、歩道等の維持管理（草刈、小修理など）

合計 3,090,148 円（観光施設管理経費 一般修繕料）

- ・南木曽岳登山道（蘭側ルート）笹狩り、ツツジ園外灯 LED 化、公共サイン修繕ほか
- ・南木曽駅、十二兼駅、田立駅、柿其溪谷遊歩道、河川公園、S L 公園、他
- ・天白公園ツツジ園、駐車場 地元業者へ整備作業を委託して実施。また、ツツジ祭り開催前には、ボランティア作業による環境整備を実施した。

○観光案内板等の小修理、維持管理

- ・田立の滝、南木曽岳、柿其溪谷、中山道（与川道）、妻籠宿、他

○福沢桃介記念館・山の歴史館・桃介橋河川公園 指定管理委託：桃介橋河川公園組合

（指定期間）令和 3 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで（5 年間）

指定管理料：1,790,000 円（天白公園管理委託併せて）

※令和 6 年度に最低賃金増額等のため、協議による増額を行った。

（利用状況）

（単位：人）

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	3 月	合計	R5 実績
286	239	143	125	187	326	158	324	26	1,816	1,353

※12 月～3 月下旬まで冬季閉館

※令和 6 年度は令和 5 年度に比べて 36.1%増加した。

（3）広域観光連携の取り組み

○木曽観光連盟・観光宣伝協議会と連携した取り組み

- ・タイアップポスターによる宣伝
- ・デジタルサイネージによる宣伝
- ・木曽路宿場町散策ガイドの WEB 更新
- ・観光宣伝基盤の整備（紙媒体の発行）
- ・電子媒体の整備（ホームページ、Fscebook、Instagram で情報発信）
- ・ガイド育成（御岳古道、与川道）
- ・イベント参加、JR さわやかウォーキングでのパンフレット、グッズ配布

○伊那路・木曽路広域観光連携会議との連携

- ・伊那路木曽路広域連携会議 年 2 回
- ・プロモーション部会 年 6 回
- ・3 地域連携造成商品のモニターツアー実施
- ・VFTM 商談会/ツーリズム EXPO 9 月 26 日～28 日 ビッグサイト（国際展示場）
- ・3 地域プラットフォームウェブサイトの構築

○尾張藩連携事業推進協議会との連携

かつての尾張藩に所縁のある名古屋市、犬山市、郡上市、下呂市、中津川市、塩尻市、木曽郡6町村の自治体と民間企業が連携し、名古屋を起点とする昇龍道中央エリアを周遊する尾張藩周遊ルートを新たに形成し、欧米豪からの集客を目的とした広域観光プロモーションを実施するために令和元年度に尾張藩連携事業推進協議会を設立し、名古屋市が中心となってプロモーション事業を行っている。

- ・ 英国市場に向けた販路形成及び商品造成事業
- ・ 国内プロモーション事業 11月23日～24日 名古屋城
- ・ WEB運営及びPRツールの活用、パンフレット作成。

○日本遺産木曽路活用検討部会との連携

中山道木曽路ルネッサンス事業を実施し、中山道木曽路全区間を踏査しマップの作成、アンケート調査、宿場カルテの作成、有識者からの意見聴取を行った。

○中央アルプス山岳観光協議会との連携

- ・ 夏山気象情報提供サービス
- ・ 観光宣伝用パンフレットの作成及び配布

(4) 観光協会等

○(一社)南木曽町観光協会 (町補助金：10,000千円)

- ・ 長野県観光機構の「令和6年度持続可能な観光地づくり推進事業」の一環で飛騨・高山コンベンション協会への視察訪問を行った。
- ・ 令和4年度に整備した音声ガイドアプリ「おともたび南木曽・中山道編」の運用を行っている。今後も利用拡大に向けて検証を行っていく。
- ・ 伊那路木曽路広域連携会議の事業の一環として、世界最大の旅行博であるツーリズム EXPO (会場：ビッグサイト)に出展した。
- ・ 南木曽駅観光案内所 1日1名(年末年始除く。観光客案内、駅前公園の清掃等)
- ・ メディア関係広告掲載
- ・ 新聞広告、旅行紙広告に掲載(年間随時)
- ・ 各種取材、TV放送取材の対応
- ・ 南木曽町観光協会公式HP「ぶらり南木曽」英語版、スマホ英語版の対応管理運営
- ・ ぶらりなごそ等観光パンフレットの更新及び印刷
- ※町からの委託業務
- ・ 南木曽駅切符販売業務(委託料4,020千円)
- ・ 南木曽駅前公衆トイレ管理(委託料500千円)
- ・ 南木曽町観光宣伝業務(委託料4,994千円)

○町加盟団体：木曽観光連盟、長野県観光連盟、みなみ木曽路連絡協議会、中央アルプス山岳観光協議会、日本桜の会、国有林観光施設協議会、日本の森滝渚全国協議会、木曽地区温泉協会、全国街道交流会議、信州まつもと空港利用促進協議会、南木曽伝統工芸の森育成協議会、伊那路木曽路広域観光連携会議、尾張藩連携事業推進協議会

○南木曽駅観光案内所対応件数 （※窓口で対応した件数・人数。外国人は通過者数。）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
問 合 件 数	R6													
	R5	1,051	999	700	741	802	814	1,025	989	376	312	399	823	9,031
	R4	325	413	294	209	245	284	525	662	325	253	308	744	4,587
	R3	316	231	144	158	182	220	363	439	172	108	91	238	2,662
案 内 人 数	R6													
	R5	2,859	2,299	1,600	2,008	1,835	1,815	2,442	2,207	812	713	881	1,959	21,430
	R4	647	732	481	387	462	535	1,180	1,453	664	487	632	1,804	9,464
	R3	564	417	226	287	280	321	653	789	265	140	145	363	4,450
外 国 人	R6													
	R5	5,063	3,486	2,334	3,435	3,251	3,761	5,995	4,861	1307	788	861	3,481	38,623
	R4	31	67	40	122	74	111	594	1,132	490	345	448	2,281	5,735
	R3	53	60	20	32	21	52	56	77	11	12	7	21	422

※R6以降、利用者数の増加に伴い従来の集計体制での対応が困難なため、

○観光客入込数

単位：人

	妻籠宿	柿其溪谷	田立の滝	南木曽 山麓	南木曽 温泉郷	富貴畑高原 温泉郷	合計
R6	339,300	21,100	4,800	4,800	93,600	15,500	479,100
R5	306,500	16,600	3,800	14,800	126,900	13,300	481,900
R4	191,600	13,100	7,500	15,500	134,200	9,900	371,800
R3	139,300	3,500	8,500	12,300	83,200	6,600	253,400
R2	167,300	7,800	6,800	17,200	97,900	8,400	305,400

○中山道馬籠峠を越える外国人ハイカー [(公財) 妻籠を愛する会調べ]

地点：一石栃立場茶屋

単位：人

R5	41,114	R4	4,823	R3	859	R2	1,138
----	--------	----	-------	----	-----	----	-------

R6	53,500
----	--------

3. リニア中央新幹線関係

○中津川市・塩尻市・木曽・下伊那広域連携 SDG, s 推進協議会との連携

リニア開業を見据え、圏域内の共通する地域資源を活かし、広域で SDG, s を推進する取り組みを進めるため、令和5年8月2日に設立総会が行われ令和6年度から計画している事業について協議を進めた。

- ・圏域内観光周遊をするスローツーリズム商品造成
- ・デジタル観光マップの作成と運用

○南木曽町リニア活用検討委員会

リニア中央新幹線の開設に伴い、リニア中央新幹線のもたらす効果を町づくりに最大限活かしていくため、令和2年3月策定の「南木曽町リニア活用基本構想」の実現に向けた取り組みを、より具体的に進めることを目的に、南木曽町リニア活用検討委員会を設置した。

- ・第2回活用検討委員会 令和6年8月30日 南木曽町役場会議室
- ・第3回活用検討委員会 令和6年11月14日 南木曽町役場会議室
- ・第4回活用検討委員会 令和7年2月28日 南木曽町役場会議室

[別 表]

令和6年度商工観光関係主な建設事業及び補助事業

単位：千円

事業名	事業箇所	事業量	事業費	左の財源内容					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
田立の滝登山道整備工事	南木曾町田立	建設工事 L=58.8m	16,775					16,775	工事請負費
		設計監理 一式	1,089					1,089	委託料
合 計			17,864					17,864	

4. 駐車場一般管理費

(1) 指定管理者制度

・令和3年度からの指定管理者について、減収を続けている駐車場会計を考慮し指定管理料の積算を全面的に見直し13,700,000円とした。公募したところ「(公財)妻籠を愛する会」のみが申請し審査の結果、令和3年度から令和7年度までの指定管理者となった。

令和4年度に物価高騰の煽りを受け、指定管理料の見直しについて(公財)妻籠を愛する会から増額の申し出があったため、指定管理料の試算を行い協議した結果、800,000円増額し、14,500,000円とした。増額の主な原因は、人件費・電気料である。

(2) 収支の状況(令和4年度から一般会計へ移行)

歳入総額	22,569,575円
歳出総額	20,789,385円(内歳入充当予算額:20,002,000円)
差引額	1,780,190円

※一般会計へ移行していますが、決算額を示すうえで例年どおりの表とした。

次年度への繰越金は一般会計全体で処理されます。

○歳入の状況

(単位:円)

科目	令和6年度	構成比	令和5年度	増減
1. 使用料及び手数料	21,782,190	96.51%	19,630,590	2,151,600
2. 繰越金	0	0.00%	0	0
3. 一般財源	787,385	3.49%	39,651	747,734
4. 財産収入	0	0.00%	0	0
歳入合計	22,569,575	100.00%	19,670,241	2,899,334

歳入の決算額は、22,569,757円で、このうち駐車場の使用料は21,782,190円となり令和5年度比プラス11.0%、2,151,600円の増額となった。(予算では、過充当にならないように使用料及び手数料は20,002,000円を計上し、一般財源を787,385円で調整した。)

使用料増額の原因は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、観光客の増加に繋がり増額したと考えられる。

○歳出の状況

(単位:円)

科目	令和6年度	構成比	令和5年度	増減
1. 駐車場一般管理費	20,789,385	100.00%	19,041,841	1,747,544
(内 駐車場管理委託料)	(14,500,000)	(69.74%)	(14,500,000)	(800,000)
歳出合計	20,789,385	100.00%	19,041,841	1,747,544

駐車場一般管理費の内訳

(単位:円)

科目	令和6年度	構成比	令和5年度	増減
旅費	0	0.00%	0	0
需用費	2,528,264	12.16%	780,720	1,747,544
役務費	0	0.00%	0	0
委託料	14,500,000	69.74%	14,500,000	0

使用料及び賃借料	3,761,121	18.1%	3,761,121	0
負担金補助及び交付金	0	0.00%	0	0
補償・補てん及び賠償金	0	0.00%	0	0
積立金	0	0.00%	0	0
公課費	0	0.00%	0	0
繰出金	0	0.00%	0	0
委託料	0	0.00%	0	0
工事請負費	0	0.00%	0	0
合計	20,789,385	100.00%	19,041,841	1,747,544

歳出の決算額は、20,789,385 円で、前年度に比べ 1,747,544 円の増額となった。

(3) 事業の実績

○営業期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

※第1・第2駐車場は、12月31日を除き毎日営業を行った。

※第3駐車場は、4月～11月の土・日・祝日に営業を行い、11月24日～3月31日は休みとした。

○営業時間 午前8時30分から午後5時00分まで（3月～11月）

午前8時30分から午後4時00分まで（12月～月）

○駐車料金 二輪車 200 円、普通 500 円、マイクロバス 1,500 円、バス 2,000 円

○利用状況

令和 6 年度 町営駐車場利用状況

(単位：台)

	バス		マイクロ		普通車		二輪車	
	6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	6 年度	5 年度
4月	378	237	20	17	3,067	2,573	265	140
5月	308	228	36	15	4,124	3,748	408	491
6月	244	123	24	21	1,894	1,641	84	106
7月	161	91	20	14	2,105	2,183	77	161
8月	155	103	19	13	3,530	3,403	233	185
9月	214	112	19	17	3,073	2,959	177	302
10月	327	251	38	39	3,926	4,153	338	366
11月	320	253	61	32	4,110	4,000	243	191
12月	98	135	27	12	1,169	1,087	8	4
1月	85	106	23	15	967	755	3	1
2月	138	146	17	15	882	956	3	14
3月	219	208	39	20	1,821	1,477	51	46
合 計	2,647	1,993	343	230	30,668	25,239	1,890	2,007
比 較	+654		+113		+1,652		-117	

5. 地域交流

○「日本で最も美しい村」連合

- | | | |
|--------------------------|--------------|---------|
| ・長野県会議 | 4月18日～18日 | 原村 |
| ・担当学会議、ブロック会議 | 4月27日～28日 | 東京都 |
| ・定期総会、研修会 | 6月27日～6月28日 | 福岡市 |
| ・長野県会議現地研修会 | 10月9日～10月10日 | 岐阜県下呂市 |
| ・担当学会議 | 11月1日～2日 | 東京都 |
| ・関東中部ブロック会議 | 11月1日 | 東京都 |
| ・美しい村まつり | 11月2日 | 東京都 |
| ・金山イベントPR活動 | 11月16日 | 名古屋市金山駅 |
| ・長野県会議 | 1月29日 | Web会議 |
| ・長野県U35みらい創造会議 | 2月23日 | 松本市 |
| ・通年 季刊誌、パンフレット情報の更新。取材対応 | | |

○長久手市との交流

- | | | |
|---------|--------------------|-------------------|
| ・通年 | 新生児祝い品事業 | 実績数：452件（R5：444件） |
| ・8月8日 | 平成こども塾受け入れ（マスつかみ等） | 南木曽町 |
| ・11月10日 | 長久手楓まつり | 長久手市 |

○上下流交流

- | | | |
|---------------|----------|---------|
| ・第1回上下流実行委員会 | 4月25日 | 木曽広域連合 |
| ・久屋中日ビル観光PR | 10月4日～5日 | 名古屋市 |
| ・いちのみや秋の緑化フェア | 10月5日 | 一宮市 |
| ・熱田区区民祭り | 10月13日 | 名古屋市熱田区 |
| ・春日井まつり | 10月19日 | 春日井市 |
| ・常滑市農業まつり | 11月3日 | 常滑市 |
| ・第2回上下流実行委員会 | 11月19日 | 木曽広域連合 |

○木曽三川流域連携

- | | | |
|---------|--------------------|-------|
| ・5月28日 | 第1回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |
| ・6月2日 | 木曽三川マルシェ（なごや水フェスタ） | 名古屋市 |
| ・9月2日 | 第2回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |
| ・10月6日 | 第13回木曽三川流域自治体サミット | 中津川市 |
| ・12月12日 | 第3回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |
| ・12月18日 | 木曽三川流域連携シンポジウム | 名古屋市 |
| ・2月17日 | 第4回木曽三川流域連携課長会議 | Web会議 |

6. 農政関係

(1) 農業委員会事務局関係

① 定例農業委員会

- ・開催回数 12回（毎月）

② 審議、活動等内容

- ・農地案件の現地確認調査、審議
- ・農業経営基盤強化促進法による利用権設定の審議
- ・農地利用の最適化にむけた地区懇談会への参画
- ・転作の現地確認 ・中山間直払等現地確認
- ・遊休農地に関する措置の状況調査
- ・農地無断転用防止のパトロール活動
- ・農作業安全運動推進PR ・農作業標準料金の審議
- ・農地農家台帳システムの整備（eMAFF等への移行）
- ・町内各生産部会等への参画
- ・全国農業新聞普及、拡大の取り組み
- ・長野県農業委員大会と各種研修会（県農業会議・情報活動・郡事務研）への参加

③ 農業委員名簿

ア. 農業委員

（任期 令和6年2月15日～令和9年2月14日）

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
高橋 徳	田立	地区推薦	原 益美	妻籠	地区推薦
早川 親利	三留野・妻籠	地区推薦	古川 和久	蘭・広瀬	地区推薦
松原 徳則	与川・三留野	地区推薦	古澤 学	与川・上の原	地区推薦
松原 正典	与川・北部	地区推薦	山川あゆみ	三留野・与川	地区推薦
片田 恵	田立	団体推薦	古井小恵子	田立	地区推薦
志水みち代	蘭・広瀬	団体推薦	11名		

イ. 農地利用最適化推進委員

（任期 令和6年2月15日～令和9年2月14日）

氏名	担当地区	備考	氏名	担当地区	備考
松原 規行	読書全域	地区推薦	伊藤 兼彦	吾妻全域	地区推薦
松原 弘文	田立全域	地区推薦	3名		

④ 農地関係取扱件数

（面積は小数点以下第1位で四捨五入）

内 容	件数	面積（㎡）
農地法第3条による所有権移転 （売買等による農地の所有権移転）	13	18,359
農地法第4条による農地転用 （所有者による農地以外への転用）	0	0
農地法第5条による農地転用 （所有権移転または貸借等の権利設定を伴う農地以外への転用）	6	3,058
公共的事業等に伴うによる農地転用	3	50
非農地証明	2	2,920

参考：農地以外への地目変更面積 6,028 ㎡

(2) 農業振興関係

①経営所得安定対策と米政策

経営所得安定対策では、米・麦・大豆等について、需要に応じた生産の促進と水田農業全体としての所得向上等により、農業経営の安定を図るため実施されている。町では木曽郡農業再生協議会を中心に米及び有利な転作作物の推進を図った。

町内農家等に交付された交付金は総額 8,015 千円（R 5 年度 8,060 千円）となった。

ア. 水田活用の直接支払交付金

・戦略作物助成 (前年)

作物名	単価 (円/10a)	面積 (㌥)	交付金額 (円)
大豆	35,000	8 (8)	28,000 (28,000)
飼料作物 (播種有)	35,000	228 (279)	798,000 (976,500)
飼料作物 (播種無)	10,000	145 (163)	145,000 (163,000)
発酵用稲 (WCS)	80,000	647 (596)	5,176,000 (4,768,000)
合 計		1,028 (1,046)	6,147,000 (5,935,500)

・県、郡産地交付金

	単価 (円/10a)	交付金額 (円)
産地交付金	※下記単価参照	1,867,881 (2,124,879)

水田における生産性向上等の取組助成（そば 4,835 円、大豆 7,148 円、飼料作物 7,253 円、WCS 用稲 18,711 円）高収益作物の取組助成（ハクサイ・スイートコーン・赤カブ 22,075 円、インゲン・トマト・エゴマ・トルコギキョウ・小菊・啓翁桜 17,870 円、エゴマ 17,976）そば作付への助成（20,000 円）

イ. 水田農業共同利用施設整備事業補助金

事業主体 木曽農業協同組合

事業内容 本年度は無

ウ. 木曽産米「初恋」の販売実績（JA 南木曽営農資材センター分）（千円）

	R 5	R 6
初恋売上額	5,720	2,954

②地域農業対策

地域営農体制の整備、農地の有効活用により持続的な農業生産を可能とする農業構造を構築するため、各種の取り組みを実施した。

ア. 農業関係制度資金利子補給金 0 件

イ. 農業振興小規模資金及びつなぎ資金関係

令和 6 年度利用実績 0 件 貸付現在高（令和 6 年度末） 0 件 0 円

ウ. 農振農用地一般管理事業

編入面積 0 m² 除外面積 0 m² 用途変更 0 m²

エ．農地利用集積計画

利用権設定面積（農業経営基盤強化促進法に基づくもの）

年度	設定面積	年度末計画面積合計
令和２年度	8.2ha	22.2ha
令和３年度	5.8ha	25.0ha
令和４年度	6.7ha	24.8ha
令和５年度	7.2ha	23.6ha
令和６年度	7.2ha	24.8ha

（設定面積は該当年度における利用権の新規設定及び更新の合計）

オ．地域計画

地域計画とは、１０年後の地域で守りたい農地について１筆ごと予定耕作者を定め、どのように次の世代につないでいくかを話し合いにより策定する計画である。

２３集落で話し合いを行い、令和７年３月末に与川、北部、三留野、妻籠、蘭及び田立の６地域で計画を策定した。

カ．肥料・農薬高騰緊急対策補助金

物価高騰による肥料・農薬高騰対策として、令和６年４月１日から令和７年２月２８日までの間に購入した肥料・農薬の費用に対して１割を補助した。

（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業）

補助件数 195 件 補助金 1,778,900 円

③中山間地域等直接支払制度

中山間地域等直接支払制度は第５期対策（令和２年度から令和６年度まで）を町内 26 の集落協定で実施した。

交付金 35,330,086 円（内訳：国 17,665,036 円 県 8,832,505 円 町 8,832,545 円）

集落名	面積（㎡）	交付金（円）	集落名	面積（㎡）	交付金（円）
与川一区	87,926	1,716,666	橋場	54,375	1,117,742
与川三区	73,814	1,468,194	大妻籠下り谷	61,300	1,276,299
与川四区	67,033	1,319,749	上在郷	48,689	1,119,729
与川五区	32,675	686,175	尾越	21,802	457,842
十二兼	38,851	727,370	上段	53,448	1,122,408
本谷	81,034	1,701,714	蘭	18,864	396,144
岩倉	84,089	1,842,963	元組	86,704	1,820,784
棚野	20,850	437,850	向栗畑	104,036	2,142,476
川向	27,712	409,209	栗畑	118,324	2,416,313
上の原	133,342	3,120,823	下切	80,922	1,812,148
神戸	31,351	706,491	大野	64,386	1,628,496
渡島	11,326	203,231	正兼	80,782	2,071,230
妻籠町上	40,112	818,604	塚野	129,038	2,789,436
			合 計	1,652,785	35,330,086

④園芸特産振興事業

ア．茶の振興関係

・田立製茶工場

操業 5 月 3 日～5 月 24 日（22 日間）生葉受入 11.0 トン（前年度 10.0 トン）

・第 51 回長野県茶の共進会

開催日 7 月 10 日（水） 場所 南木曾町妻籠街並み交流センター

総出品点数 124 点

町内入賞者

県知事賞 大宮 敬一

優秀賞 松川 君代 長渕 英治 長渕 浩 小倉 敏保 小幡 忠實 岡庭 緑朗

優良賞 小幡 豊子 林 益雄 奥村 定昭

イ．野菜関係

農家の自主的運営で野菜の直売や道の駅、A コープで販売されている。

・野菜自動販売機

令和 4 年度にコロナ禍により集客イベントの開催が自粛傾向にあるなか、人の密を避けた販売機会の確保として、野菜の自動販売機を 3 機購入し設置した。

野菜自動販売機設置 3 箇所（駅前広場、天白公園、南木曾会館駐車場）

・町内の個人設置無人販売所 1 箇所（田立）

・地産地消関係

地元消費拡大を目的に生産、販売、商工、観光、学校関係者で「地産地消推進協議会」を組織して軽トラ市場部会と学校給食部会が活動を行った。

軽トラ市場は、昨年と同様に長雨と高温の影響で野菜の生育が悪く、販売できる量の確保が困難だった。6 月から 12 月まで開催し、年金支給日は農協駐車場で開催することができた。

学校給食の食材供給者に対する補助は、例年どおり運搬費補助を実施した。

軽トラ市場なぎそグリーンマーケット開催状況（ ）は前年数値

開催数	売上合計	延べ出店者数	主な開催場所
6 回 (6 回)	112,000 円 (107,100 円)	17 店 (15 店)	南木曾駅横駐車場 J A 木曾南木曾金融店

学校給食食材提供運搬補助実績（ ）は前年数値

【小学校】			【中学校】		
延べ回数	補助額（円）	売上合計（円）	延べ回数	補助額（円）	売上合計（円）
138 回 (154 回)	45,180 円 (50,860 円)	182,462 円 (265,791 円)	124 回 (181 回)	25,380 円 (41,030 円)	280,963 円 (364,868 円)

ウ．花卉・花木関係

各農家がＪＡを通じて出荷を行った。

出荷数量

品種	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
ヒペリカム	3,160 本	2,810 本	3,170 本	1,550 本	1,150 本
こうやまき	30,614 本	37,725 本	26,843 本	26,765 本	27,316 本

エ．園芸特産品振興事業補助金

パイプハウス設置事業補助金 実績なし 【補助率 1/2 上限 30 万円】

オ．みつばちふそ病関係

ふそ病検査は松本家畜保健衛生所が毎年実施していたが、令和６年度以降は２年に１回行うよう変更となった。

広報誌により新規飼養者への届出等の必要性について周知を行った。

⑤畜産振興事業

ア．家畜飼育状況（令和７年３月現在）（単位：頭）

年度	乳 牛		肉用牛	
	農家数	成乳牛数	農家数	繁殖牛数
R 2	1	22	8	76
R 3	0	0	7	83
R 4	0	0	6	77
R 5	0	0	6	66
R 6	0	0	5	70

イ．家畜市場（子牛）状況の推移（令和７年２月末現在）（単位：千円）

年度	雌		去 勢		子牛全体		売上合計
	頭数	平均金額	頭数	平均金額	頭数	平均金額	
R 2	24	603	30	705	54	660	35,633
R 3	15	587	34	732	49	687	33,677
R 4	21	536	26	613	47	579	27,212
R 5	22	448	27	468	49	459	22,489
R 6	17	414	33	503	50	473	23,626

ウ．家畜診療関係

平成 16 年度から NOSAI 長野中信地域センター（旧 NOSAI 中信診療所）へ委託。

令和 6 年度負担金 504,000 円

エ．畜産振興事業補助金

素牛導入事業

・素牛導入 0 頭 補助金 0 円 【補助率 1/2 上限 30 万円】

・自家保留 5 頭 補助金 300,000 円 【定額 6 万円/頭】

オ．町有牛導入事業

導入 0 頭 譲渡 1 頭 665,704 円

年度末保有町有牛 1 頭 評価額 計 793,875 円

カ．飼料高騰緊急対策交付金

物価高騰による配合飼料高騰対策として、家畜の種類、飼養頭数に応じて給付金を交付した。また、養魚所へも給付金を交付した。

(物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業)

補助金単価 牛 10,000 円/頭 山羊・羊 3,000 円/頭 養魚所 30,000 円/件

補助金 1,284,000 円

内訳 牛 5 件 1,080,000 円 山羊 1 件 96,000 円 羊 1 件 18,000 円

養魚所 3 件 90,000 円

キ．長者畑草地関係

長者畑草地利用組合の解散により、令和元年度から町管理となった。

返地に向けて木曽森林管理署との協議を進める予定だったが、J R のリニア残土処理場の候補地となったため、返地協議を中断し残土処理候補地として協議している。

ク．大原公共採草地管理関係

大原公共採草地管理組合（組合員 3 戸）

牧草を播種し草地として利用を継続している。

一部を公共工事の残土処理場として施工している。施工後は複数のほ場を一つにまとめたほ場として復旧する。

ケ．畜産クラスター事業関係

畜産農家、J A、県、町で構成する繁殖和牛生産振興ネットワーク協議会の事業。

自給飼料の拡大や機械導入を計画、実施していく協議会

○機械導入事業等

該当なし

○優良繁殖雌牛更新加速化事業

該当なし

⑥農作物有害鳥獣被害対策事業補助金

電気柵等を購入、設置した場合の購入経費を補助。

(中山間地域直接支払制度受益農地は対象外)

2 件 38,025 円 【補助率 1/2 上限 3 万円】

⑦農業技術の普及・改善・指導・試験研究

農業関係の普及事業等について木曽農業農村支援センターや J A との連携及び農技連の活動により推進した。

・農事(気象・防除等)に関する広報活動、農作業安全月間啓発活動

・稲作現地指導会 6 月に 17 か所で実施

・のうさいドローンによる水稻防除作業への協力

・ヒペリカムやコウヤマキの出荷目揃い会等 7 月

・えごま栽培講習会 年 4 回

(別表)

令和 6 年度 農政関係主要事業

1. 農業委員会事務局関係

単位：千円

事業名	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農業委員会運営経費（最適化事業）	14名	4,585		2,059			2,526	
機構集積支援事業		1,609		719			890	農地台帳保守 農業委員会サポートシステム 用台帳データ整備
合 計		6,194		2,778			3,416	

2. 農業振興関係

単位：千円

事業名	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
水田農業構造改善対策事業		78					78	
中山間地域等直接支払交付金	165ha	35,331	17,665	8,833			8,833	
素牛導入事業	5 頭	300					300	自家保留 5 頭
NOUSAI家畜診療所運営負担		504					504	
肥料高騰緊急対策補助金		1,779	2,500				563	物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金
飼料高騰緊急対策交付金		1,284						

7. 農村整備関係

(1) 町単小規模修繕事業

①土地改良施設修繕

中山間直接支払制度の対象地域外の施設修繕を実施した。

(水路 5 件)

②土地改良施設原材料支給

各地区で実施する施設整備のための原材料支給を行った。

(水路 1 件)

※事業費等、別表参照

(2) 農地農業用施設災害復旧事業

令和 6 年災は、豪雨により

6 月に16箇所（農地10箇所、農道 2 箇所、頭首工 1 箇所、水路 3 箇所）が被災した。

被災した農地・農業用施設の内 4 箇所（農地 4 箇所）については、国庫補助事業にて復旧工事を実施し、その他は町単災害復旧事業により復旧工事を実施した。

また、国庫補助事業 4 箇所、町単災害復旧事業 2 箇所については、次年度へ繰越となった。

※事業費等、別表参照

(3) 県単緊急農地防災事業

土砂崩落危険箇所台帳に登録された危険性の高い水路を対象に県営で整備するもので、町は測量試験費と長土連特別賦課金を負担し、県が工事を施工する事業。

令和 5 年度に繰り越された沼田地区「岩戸沢水路」の改良工事を行った。

(4) 小水力利活用促進事業

平成30年度から令和 2 年度にかけて建設工事を行い、令和 3 年 1 月 1 日から供用開始し、発電した電気は中部電力パワーグリッド㈱へ売電している。

①細ノ洞発電所の主要設備

横軸ペルトン水車（UNTERLERCHER社） 1 基 オーストリア製

三相誘導発電機（AREND社） 1 基 ドイツ製

水車制御盤（㈲イー・セレクト） 1 台

パワーコンディショナー 5 台

沈砂池・ヘッドタンク L=15.18m W=1.0m H=0.9～1.45m

導水管 強化プラスチック複合管 φ=250mm L=約250m

高密度ポリエチレン管 φ=250mm L=約345m

②細ノ洞発電所の運営状況

歳 入		歳 出	
売電収入 (R6. 3. 7～ R7. 3. 6売電分)	7, 841, 729円 209, 672kWh×37. 4円	電気料	103, 748円
		一般修繕費	990, 000円

	時間平均約23.9kWh	委託料	1,746,640円
		使用料	65,400円
		他事業への充当	4,095,047円
		基金積立金	840,894円
合 計	7,841,729円	合 計	7,841,729円

(5) 南木曾町耕作条件改善事業

基盤や排水の不具合が発生している圃場が増えてきたことから、令和元年度に中山間集落協定地を対象として実態調査を行い、令和2年度から令和3年度にかけて国庫補助事業を活用した圃場の改修を関係機関と協議した。

協議の結果、国庫補助事業の採択要件を満たすことが困難な為、令和4年度から町単事業として、圃場の改修を希望する農家に対して補助金を交付する制度を創設した。

令和6年度は、6件（施工面積：12.6a、事業費：4,037,000円、補助金：3,026,000円）交付した。

(6) 国土調査事業

令和6年度の国土調査事業は、田立下切・栗畑・大野正兼の山林部を実施した。

調査区名	事業内容	事業費
田立の一部 29区	地籍図原図作成、地積測定、地籍図及び地積簿作成、最終取りまとめ 0.36km ²	8,513,550円 (8,220,000円)
田立の一部 30区	地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、細部図根測量、一筆地測量 0.20km ²	() 内補助対象額

※事業費等、別表参照

国土調査実施地区一覧

年 度	地 区 名	成果 面積	成果 筆数	区 分	認証日	登記完了 日
52 - 18	本谷～下切 28 地区	(k m ²) 17.23	(筆) 23,830	平地		
18 - 22	下切・塚野の一部 (山林) 4 地区	2.52	144	山林		
22 - 23	塚野の一部 (山林)	0.18	31	山林	24.11.12	25. 3. 8
23 - 24	塚野の一部 (山林)	0.14	44	山林	25.11.20	26. 6. 6
24 - 25	塚野の一部 (山林)	0.09	25	山林	29.11. 9	30. 2. 5
25 - 26	塚野の一部 (山林)	0.33	71	山林	30. 5. 7	30. 8.10
26 - 27	塚野・大野正兼の 一部 (山林)	0.46	105	山林	31. 2.21	元. 5.28
27 - 28	大野正兼の一部 (山林)	0.29	62	山林	元. 8.29	元.10.16
28 - 29	大野正兼の一部 (山林)	0.39	156	山林	2. 7. 6	2. 9.29
29 - 30	大野正兼の一部 (山林)	0.29	72	山林	3. 3.31	4.10.12
30 - 元	栗畑・大野正兼の 一部 (山林)	0.25	84	山林	4. 1. 6	5. 1.30
元 - 2	栗畑の一部 (山林)	0.39	37	山林	5. 1. 4	5.11.29
2 - 3	栗畑の一部 (山林)	0.17	96	山林	6. 3. 6	7. 6.16
3 - 4	栗畑の一部 (山林)	0.22	113	山林	未	未
4 - 5	下切・栗畑・大野正 兼の一部 (山林)	0.29	112	山林	未	未
5 - 6	栗畑・大野正兼の 一部 (山林)	0.36	81	山林	未	未
6 - 7	栗畑・大野正兼の 一部 (山林)	0.20	122	山林	未	未
計		23.80	25,185			

地籍調査対象面積 73.96k² (平坦部17.23k² 山林部56.73k²)

平坦部成果面積計 17.23k² (進捗率100%)

山林部成果面積計 6.57k² (進捗率11.58%)

(7) 多面的機能支払交付金事業

第3期対策（令和6年度から令和10年度）の1年目（12活動組織）

農地の維持や施設の長寿命化に取り組む活動に対して交付金を交付。

交付金3,894,868円（内訳：国1,947,434円 県973,717円 町973,717円）

地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)	地区名	実施面積 (a)	支払交付金 (円)
与川1区	846	578,884	神戸	266	79,800
与川3区	641	279,968	元組	886	265,100
与川4区	618	359,572	向栗畑	1,040	653,762
与川5区	329	98,700	大野	626	280,448
岩倉	842	659,380	正兼	799	507,454
棚野	196	58,800			
川向	276	73,000	合計	7,365	3,894,868

[別表]

令和6年度 農村整備関係 主な建設事業及び補助事業

1. 土地改良事業関係

(1) かんがい水路改良事業

(単位：千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
土地改良施設維持管理適正化事業	与川一区 (向田)	測量設計 一式	671	3,196			855	1,496	R5繰越事業
		水路改修 水路工 L=45.0m	4,876						
町単水路改良事業	町内	水路修繕 5箇所	2,517				2,517		
町単水路改良事業	町内	原材料支給 1箇所	62				62		
小計			8,126	3,196			3,434	1,496	

(2) 災害復旧事業関係

(単位：千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
国庫災害復旧事業	橋場	実施設計 一式	275	3,395			38	1,266	R5繰越事業
		農道復旧工 L=6.2m	4,424						
	上の原他3地区	査定設計 一式	1,672	1,474			17	5,535	6月豪雨災害 ①②③については応急復旧のみ ④農地復旧工 フトン簞ΣL=21.0m 仮設道路工L=9.0m ※実施設計、①②③工事については次年度繰越
		①上の原(木下佐智子) 農地復旧工 A=0.16ha	1,200						
		②与川1地区(古澤元彦) 農地復旧工 A=0.06ha	86						
		③与川2地区(平田誠) 農地復旧工事 A=0.08ha	2,453						
		④下切地区(小幡豊子) 農地復旧工事 A=0.01ha	1,615						

町単災害復旧事業	町 内	修繕 5 箇所 (農地 1 箇所、水路 4 箇所)	3,283				95	3,188	R5繰越事業
	町 内	修繕12箇所 (農地 6 箇所、農道 2 箇所、頭首工 1 箇所、水路 3 箇所)	5,816				253	5,563	※次年度繰越事業 (農地 1 箇所、水路 1 箇所)
小 計			16,125	1,474			365	14,286	

(単位：千円)

土地改良事業合計	24,251	4,670			3,799	15,782	
----------	--------	-------	--	--	-------	--------	--

2. 国土調査事業関係

(単位：千円)

(単位：千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左 の 財 源 内 訳					備 考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
国土調査事業	田立29区 30区 (栗畑・下切 ・大野正兼 山林)	29区 (0.36km ² : 81筆)	8,514	4,110	2,055			2,349	
		30区 (0.20km ² : 122筆)							
国土調査事業合計			8,514	4,110	2,055			2,349	

(単位：千円)

農村整備関係合計	32,765	8,780	2,055		3,799	18,131	
----------	--------	-------	-------	--	-------	--------	--

8. 林 務

(1) 林業振興関係

① 民有林振興対策事業

民有林振興対策として森林所有者の森林整備意欲等の向上を図るため補助を行った。

ア. 林業指導啓発事業

南木曽町森林組合による民有林の指導啓発活動をはじめ林業職員の技術向上事業に対して988,000円を補助した。

イ. 造林事業

森林所有者の負担軽減を図るため、除間伐を中心とする森林造成事業の森林整備費として森林組合を通じて256,680円を補助した。

実施された造林事業は、次のとおりである。

(単位：ha・円・m)

作業種	6 年度		5 年度		4 年度		備 考
	事業量	補助金額	事業量	補助金額	事業量	補助金額	
地拵え	—	—	—	—	—	—	
新 植	—	—	—	—	—	—	
下 刈	2.40	—	2.40	—	2.40	—	
枝 打	—	—	—	—	—	—	
除 伐	—	—	—	—	—	—	
獣害防止	5.06	—	7.39	—	4.17	—	
間 伐	18.24	256,680	14.10	422,031	15.75	378,737	
除間伐	—	—	—	—	—	—	
搬出間伐	3.32	—	3.13	—	6.68	—	
改 植	—	—	—	—	—	—	
その他	—	—	—	—	—	—	
(竹林整備)	—	—	—	—	—	—	
合計	29.02	256,680	27.02	422,031	29.0	378,737	
作業路	—	—	573	—	396	—	

*町有林整備事業を含む。

ウ. 特認事業

林業後継者対策事業として、南木曽町林業研究クラブに150,000円を補助した。

エ. 森林経営管理制度

木曽広域連合の森林整備推進室と連携し、読書三留野地区川向団地（5林班）の意向調査、読書柿其地区中山団地（16林班）の委託先募集を行った。

巡視業務委託：田立傘木団地 66,352円、吾妻妻籠地区城山団地 66,352円、読書与川地区川合団地 99,528円

木曽広域連合負担金：5,421,000円

オ.薪・ペレットストーブ設置補助金

2台の薪ストーブ設置に対して補助を行った。200,000円(100,000円/台)

カ.森林整備促進事業補助金

令和3年度より作業道新設・修繕に係る費用、令和4年度より皮剥防止に係る費用の補助金を交付している。令和6年度は作業道修繕1件を補助した。

キ.ライフライン等保全対策事業

令和3年度より町道、林道等の危険木伐採事業を行っている。令和6年度は町内12箇所の危険木を伐採した。8,486,544円

ク.南木曽町林業担い手支援事業補助金

令和5年度より新たに林業従事者を育成する事業者に係る費用の補助金を交付している。令和6年度は2名、358,000円の補助を行った。

②植樹祭

柿其国有林内において、令和6年度木曽郡植樹祭（県植樹祭）を行った。参加者は約100名

③その他

・みどりの募金

期間 4月1日～5月31日

募金額 215,825円 内訳 世帯募金 211,790円 職場等 4,035円

街頭募金は、山林協会と木曽地域振興局林務課が、5月3日に妻籠宿ふれあい館前にて実施した。

・みどりの少年団

7月26日に、木祖村こだまの森で開催された木曽地区みどりの少年団交流集会へ南木曽小学校みどりの少年団18名が参加した。

・南木曽中学校1年生体験学習

4月19日 椎茸植菌作業事前学習（講師：木曽地域振興局林務課）

26日 椎茸植菌作業（講師：南木曽町森林組合、林研クラブ）

10月18日 林業体験事前学習（講師：南木曽町森林組合）

25日 読書天白地区だいの森において、林業体験として間伐作業実施

・森林の里親促進事業

福澤桃介が初代社長であり、愛知県名古屋市の本社のある、大同特殊鋼(株)がH28年度に創業100周年を記念して、福澤桃介ゆかりの地である南木曽町と森林の里親契約を締結している。今年度も昨年度に引き続き、森林整備のために年100万円の寄付をいただいた。令和5年度より同社の新入社員研修の会場が変更されたことによって参加人数が大幅に減ったこともあり、南木曽中学校1年生林業体験実施時に大同特殊鋼(株)の皆さん（参加者5名）と共に山林整備を実施した。寄付金にて委託により下刈りを行った。

(2) 町有林関係

①町有林造成事業

令和6年度の実施内容は以下のとおり

保育間伐	(下安町有林)	1.15ha
下刈	(天白町有林)	2.40ha
獣害防止	(峠町有林)	5.06ha
支障木伐採	(八助町有林)	林道長根線沿い

※森林組合申請分

搬出間伐	(八助町有林)	3.32ha
保育間伐	(八助町有林)	8.51ha

合計11.83ha

②山林委員会

町有林の管理・維持のため各地区に山林委員を委嘱している。

委員の方には 受け持ち林班の巡視を始め、町有林経営計画に基づく施業の確認、体験学習等の指導、関連事業の立ち会いをお願いしている。

山林委員名簿

委員長：田中 淳司 副委員長：尾崎 利輝

読書	田中 淳司	吾妻	尾崎 利輝	田立	岡庭 緑朗
	古根 一		加藤 英幸		小倉 芳意智

任期：令和6年5月1日～令和10年4月30日まで 4年間

令和6年度 of 山林委員会は、2回開催した。

山林委員の町有林巡視の他、南木曾町森林組合に巡視の一部を委託した。

(委託料：264,000円)

(3) 林道開設・改良等事業

①林道開設 令和6年度は実施なし

②林道改良 秋葉山線改良工事で舗装工L=316m、排水施設工及び擁壁工等を施工した。
(繰越) 田の沢線改良工事で擁壁工L=36m、法面保護工を施工した。

③作業道開設 令和6年度は実施なし。

(4) カモシカ対策事業

民有林・国有林内におけるヒノキの幼齢木に対するカモシカの食害は、新植面積の減少により減る傾向にあるが、農作物を対象とした被害は依然として後を絶たない。

個体数調整事業は、第二種特定鳥獣管理計画に基づき被害状況から捕獲計画頭数を10頭で申請。長野県において審査の結果、申請と同数が計画頭数に認められ、10頭の捕獲実績となった。

(5) 森林病虫害等防除対策事業

・松くい虫防除対策

補助事業により南木曾町から大桑村への北上防止を実施するとともに、生活道路周辺の危険木と合わせ伐倒・くん蒸処理を実施した。

県補助事業により被害拡大防止に努めているが、北上防止を優先しており、大桑村町村境周辺のみ実施としている。このためその他地域では処理が進まず、町内の被害は拡大している。枯損木となり公共施設等へ倒木することにより人身被害及び物損被害の懸念のある木については地権者の申請により伐採のみ町で実施している。

- ・カシノナガキクイムシ対策

町内各地で被害が出ており、枯損木が確認された。

県補助事業により、被害拡大防止のための被害木処理を実施している。

(6) 有害鳥獣駆除事業

南木曾町有害鳥獣駆除対策協議会では、令和6年度の駆除実施計画、南木曾町有害鳥獣被害防止計画について確認し、駆除班を編成して実施した。

有害鳥獣の駆除・追払い等の活動を実施する、「有害鳥獣駆除従事者」は、南木曾町猟友会員のうち講習受講者58名の登録とした。

合わせて、「有害鳥獣駆除従事者」により「鳥獣被害防止実施隊」を編成し、有害駆除を実施した。

新規狩猟免許取得者3名へ取得費用の補助を行い、有害駆除従事者・被害防止実施隊員の登録をした。

国補助事業により向栗畑地区へ侵入防止柵を導入した。また、田立塚野地区の塚野浄水場付近にて緩衝帯整備事業を行った。更にニホンザル用の大型囲い罠1基を岩倉地区味噌工場付近へ設置を行った。

今年度も県からの依頼により、豚熱（旧称豚コレラ）蔓延防止の観点から捕獲イノシシの検査を猟友会の協力の下で行った。

- ・忠犬事業

忠犬による有害鳥獣の追い払い事業は、平成17年度から行われている。

令和6年度末までに本登録20頭が登録されている。本年度も忠犬の状態確認を行った。

- ・クマ被害対策

猟友会の協力の下、被害対策・捕獲を行っている。第5期ツキノワグマ保護管理計画における長野県への意見照会では、集落付近で錯誤捕獲となった場合は、人身被害を防止する観点から捕殺を含む対処を強く要望。このほか広報誌や区長配布による注意喚起や、広報無線による出没情報の周知を図っている。

(7) 治山事業（県事業）

- ・復旧治山事業

読書 南栄町 袖ヶ沢（山腹工 0.11ha）

- ・林地荒廃

読書 与川三区 阿征坂（山腹工 0.15ha）

読書 与川三区 阿征坂（調査業務 一式）

読書 与川三区 阿征坂（山腹工 0.15ha）※R7へ繰越

吾妻 口志水 井戸沢（谷止工増厚 1個）

- ・県単治山事業

読書 与川三区 中屋沢（測量設計業務 一式）

吾妻 下り谷 男樽川山腹 (設計業務 一式)

(8) 災害復旧事業

・町単災害分

林道袖山線災害復旧工事 (洗堀修繕、法面補修工)

林道田の沢線災害復旧工事 (洗堀修繕、路面整備工)

林道田の沢線災害復旧工事 (土工、擁壁工、支障木伐採、産廃処理)

令和 6 年度林務関係主要事業

(1) 林業振興関係

単位：千円

事業名	事業主体	事業量 (ha、台、 m、箇所)	事業費	左 の 財 源 内 訳					備 考
				国庫支出金	県出支金	地方債	その他	一般財源	
林業振興普及啓発 (林業担い手育成支援事業)	町	16	600				559	41	チェンソー講習会 その他：森林経営管理基金
林業振興事業補助金 (指導啓発事業)	森林組合		988					988	
林業振興事業補助金 (造林事業)	森林組合	8.58	257					257	
林業振興事業補助金 (特認事業)	林研クラブ		150					150	
山林資源活用機器設置補助金 (薪・ペレットストーブ設置)	町	2	200				200		薪ストーブ 2 台 その他：森林経営管理基金
森林整備促進事業補助金 (作業道開設・修繕・皮剥防止)	町	1	183				183		作業道修繕 その他：森林経営管理基金
林業担い手育成支援事業補助金 (新規林業従事者育成)	町内林業事業体	2	358				358		その他：森林経営管理基金
ライフライン等保全対策事業 (危険木伐採)	町	12	8,487				5,500	2,987	その他：森林経営管理基金
合 計			11,223	0	0	0	6,800	4,423	

(2) 町有林造成事業

単位：千円

事業名	事業主体	事業量	事業費	左 の 財 源 内 訳					備 考
				国庫支出金	県出支金	地方債	その他	一般財源	
町有林造成事業	町	保育間伐 1.15ha	515				200	315	下安町有林（田立塚野） その他：寄付金
		下刈・作業道刈払 2.40ha	1,068				1,000	68	天白町有林（読書天白） その他：寄付金
		獣害防止 5.06ha	996					996	峠町有林（田立塚野）
		搬出・保育間伐 11.83ha	3,200					3,200	八助町有林（田立塚野）
		支障木伐採 長根線沿	399					399	八助町有林（田立塚野）
合 計			6,178	0	0	0	1,200	4,978	

(3) 林道開設・改良・維持事業

① 林道改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
道整備交付金事業 林道秋葉山線改良工事	読書岩倉	舗装工 排水施設工 擁壁工	18,480	6,160	184			12,136	
町単林道事業 林道秋葉山線改良工事	読書岩倉	路盤改良工 暗渠排水工 集水柵工	121					121	
(繰越) 町単林道事業 林道田の沢線改良工事	読書十二兼	擁壁工 法面保護工	3,399					3,399	

② 林道維持補修

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
林道施設修繕	町内 各路線	維持 管理 補修	3,716	0	0	0	0	3,716	7路線、16箇所 秋葉山線、細野山線、長根線、 袖山線、摺鉢線、田の沢線、 川向榔野線

③ 林道調査・点検

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
農山漁村地域整備交付金事業 林道橋梁点検業務	川向榔野線	5橋	3,300	1,650	33			1,617	
町単林道事業 林道橋梁点検業務	川向榔野線	1橋	121					121	
林道編入調査測量業務	田の沢線	L=153m	330					330	

(4) カモシカ対策事業

① 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
カモシカ個体数調整事業	町内一円	10頭	600	0	0	0	0	600	

② 捕獲実績

単位：頭数

年度	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	合計
頭数	9	10	10	5	3	4	10	6	10	10	77

(5) 森林病虫害等防除対策事業

① 松くい虫対策

ア 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量 (m ³)	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
松林健全化推進事業		131.34	6,771		4,070			2,701	
(内 松くい虫被害)	三留野以北	(121.34)	(6,059)		(3,660)			(2,399)	
(内 ナラ枯被害)		(10.00)	(712)		(410)			(302)	
危険枯損木処理(松枯)	町内一円	20.00	704					704	地権者要望箇所対応
計		151.34	7,475	0	4,070	0	0	3,405	

イ 枯損木の伐倒燻蒸処理量

単位：m³

年度	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	合計
処理量	201.65	291.42	253.27	186.50	190.50	155.34	165.89	158.47	141.86	131.34	1,876.24

(6) 有害鳥獣駆除事業

① 事業費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業量	事業費	左の財源内訳					備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
有害鳥獣対策事業	町内一円	一式	6,377					6,377	駆除報償金、新規狩猟者補助等
鳥獣被害防止 緊急捕獲等対策交付	町内一円	一式	3,470	981				2,489	ニホンザル・ニホンジカ ・イノシシ 個体数調整
野生鳥獣総合管理対策事業	町内一円	一式	167		84			83	有害鳥獣捕獲者支援 ツキノワグマ放獣
市町村森林整備支援事業	田立 下切	一式	1,454		1,010			444	緩衝帯整備事業 下草刈り
鳥獣被害防止総合対策交付金	町内一円 田立 向栗畑	一式	1,618		1,380		238		ワナ、檻購入 侵入防止柵設置
忠犬による追い払い事業	町内一円	一式	80					80	訓練、状態確認、飼主傷害保 険
計			13,166	981	2,474		238	9,473	

② 有害鳥獣駆除数実績

単位：頭数

駆除対象鳥獣	サル	イノシシ	クマ	キジバト	カラス	ノウサギ	ハクビシン	タヌキ	カワウ アオサギ	ニホンジカ	アライグマ	アナグマ
報酬単価	30,000	10,000	15,000	—	500	—	3,000	3,000	1,000	30,000	3,000	3,000
有害許可頭数等	90	120	必要数	10	30	5	50	90	10	160	10	20
駆除数	29	116	18	0	2	0	30	69	0	128	6	11
(前年度駆除頭数)	45	90	6	0	1	0	25	76	0	140	3	11

③ 熊の出没回数

単位：回数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年	1	14	26	15	15	9	1	0	0	0	0	0	81
令和5年	1	6	10	5	5	6	2	2	0	0	0	1	38

④ 忠犬登録実績

単位：頭数

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
読 書	24	22	21	17	15
与川一区	2	2	2	1	1
与川三区	2	2	2	2	0
与川五区	2	2	2	1	1
十二兼	1	1	1	1	1
本谷	0	0	0	0	0
岩倉	1	1	1	1	1
戸場	1	1	1	1	1
川向	5	5	5	5	5
沼田	1	1	1	1	1
上の原	5	3	3	1	1
和合北	1	1	1	1	1
新町	1	1	1	1	1
東町	2	2	1	1	1
吾 妻	4	5	6	4	3
中町	1	1	1	0	0
橋場	1	1	1	1	1
大妻籠	1	2	3	2	2
下り谷	0	0	0	0	0
口広瀬	1	1	1	1	0
田 立	5	5	4	3	2
元組	0	0	0	0	0
向栗畑	2	2	1	1	0
栗畑	1	1	1	0	0
下切	0	0	0	0	0
大野正兼	0	0	0	0	0
塚野	2	2	2	2	2
合 計	33	32	31	24	20

(7) 治山事業費
県事業分 (R 6 年度完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
復旧治山事業	袖ヶ沢	山腹工	0.11ha	請負金額 84,469千円
林地荒廃防止事業	阿征坂	山腹工	0.15ha	請負金額 17,105千円
林地荒廃防止事業	阿征坂	調査業務	1式	請負金額 5,000千円
林地荒廃防止事業	井戸沢	谷止工増厚	1個	請負金額 24,332千円
県単治山事業	中屋沢	測量設計業務	1式	請負金額 7,755千円
県単治山事業	下り谷	設計業務	1式	請負金額 957千円

県事業分 (R 6 年度未完了分)

事業名	実施箇所	事業及び事業量		備考
林地荒廃防止事業	阿征坂	山腹工	0.15ha	請負金額 18,700千円